

# 県重要文化財 磨崖和霊石地蔵

指定 昭和50年 鷺浦町 向田区

守り・伝える・文化財 ⑰



▲干潮時に姿をあらわした石地蔵(右上は地蔵顔の剥落)

磨崖和霊石地蔵は、佐木島西海岸の向田港棧橋から約20m隔てた海浜の独立した巨石に彫られています。巨石は花こう岩で、高さ約2.7m、幅約4.7m、厚さ約4mの大きさです。割石島の対岸にあるため「割石地蔵」とも言われています。満潮時には肩の辺りまで海中に没します。正安2年(1300年)の鎌倉時代のもので県内では一番古い石仏です。中央の蓮華座の上に舟形の輪郭を彫り沈め、その中に地蔵坐像が半肉彫りされています。頭部の後ろに円光背を浮き彫りにし、右手に錫杖を持ち、左手に宝珠をのせています。像の左右には蓮華の花をさした花瓶も



▲海中に没した石地蔵

滅し銘文を確認することは難しくなっています。

過去に判読された銘文によると「仏師念心」により製作されたとされています。念心の作品は、正和元年(1312年)附属寺の石塔(愛媛県今治市)、文保2年(1318年)大山祇神社の宝篋印塔(愛媛県今治市)、元応元年(1319年)米山寺の宝篋印塔が確認されています。このことから念心は、備後と伊予の国境を越えて現在のしまなみ海道圏域で活躍した石大工と考えられます。昭和51年に、この石地蔵の補強事を行いました。最近になり、地蔵の顎・胸や銘文などの剥落が進んでいます。今後、磨崖和霊石地蔵の保存処理が必要と考えられます。(文/生涯学習課 芸員 時元省二)

問い合わせ先  
生涯学習課  
(☎0848④2137)

浮き彫りされています。地蔵の左側には、願文が刻まれています。海食のため剥落・摩

## 木造住宅の耐震診断と補強方法の講習会

とき 20日(水)13時〜  
ところ 市民福祉会館  
対象 建築士の資格を持つ人  
問い合わせ先 建築課 ☎0848⑦6122

## 三原地域合同求人説明会

とき 23日(土)13時〜16時  
ところ 三原能力開発支援センター(館町二丁目)  
対象 来春卒業予定者、一般求職者、既卒者、Uターン就職希望者  
同時開催 就職支援セミナー、一日しごと館要予約、福祉職場の就職相談

※参加事業所は5日(火)から市ホームページに掲載します。  
※希望者は直接会場へ。  
問い合わせ先 商工振興課 (☎0848⑦6013)

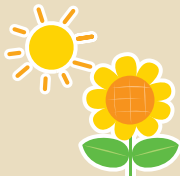
## 税の納期(普通徴収)

- ◎市県民税(第2期)
  - ◎国民健康保険税(第2期)
  - ◎介護保険料(第2期)
  - ◎後期高齢者医療保険料(第2期)
- 納期限 9月1日(月)  
※税金・保険料は納期限までに納めましょう。

今月の夜間収納窓口(19時まで)  
14日(木)・28日(木)

## あ・と・が・き

今回の特集では、二人の若者を紹介しました。二人を取材する中で感心した事が二つありました。ひとつは、二人とも中学生や高校生とは思えないくらいしっかりとした考え方やプレーのスタイルを持っていたこと。もうひとつは、支えてくれている家族や先生などに感謝の気持ちを持っていること。今回の取材で年下の二人に教えられることがたくさんありました。この特集が彼らの夢を後押しできるものとなり、市民の皆さんにも若い二人の頑張りを知ってもらえるものになればと思います。▼表紙の写真。試合でもないのにあのように真剣な表情ができる二人をうらやましく思いました。最後に、取材に協力していただいた皆さん、ありがとうございます。ごさいました。(は)



● 三原市の人口 ●	
(6月30日現在)	
世帯数	43,974世帯 (+254)
人口	104,436人 (-549)
男	50,149人 (-271)
女	54,287人 (-278)
( )内は前年同月との比較	

資源保護のため「広報みはら」は再生紙および大豆インクを使用しています。

編集・発行/三原市秘書広報課 (〒723-8601 広島県三原市港町三丁目5番1号 ☎0848⑦6007) 毎月1日発行  
「広報みはら」は市役所1階ロビーと各支所、サン・シープラザとうきしろロビーの窓口にも備えています。点字版や録音テープの「広報みはら」も発行しています。問い合わせは秘書広報課へ。